

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	みどり課長	永井 淳一
まち-10 緑政運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	みどり課
総合計画上の位置付け		分野	みどり	施策の方針
				緑の保全等

1 事業の目的		2 平成26年度に実施した事業の概要		
対象	市民等	緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会を開催した。		
意図	緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。			
効果	緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。			

3 事業費等基礎データ					
人口等のデータ	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
	人口	177,243人	人口	177,464人	
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	1,136	決算値(千円)	1,041	/
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	10	その他	8	
	一般財源	1,126	一般財源	1,033	
事業経費運営	人員配置数	2.3	人員配置数	2.3	
	人件費(千円)	17,913	人件費(千円)	17,304	
	総事業費(千円)	19,049	総事業費(千円)	18,345	
	市民1人当りの経費(円)	107	市民1人当りの経費(円)	103	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	平成24年度に国庫補助を活用し、(仮称)上町屋特別緑地保全地区の指定に必要な一部の土地を買い入れており、今後速やかに指定する必要がある。 平成24年度の(仮称)上町屋特別緑地保全地区の指定に向けた取組が進まなかったため、指定に合わせて実施する予定だった標識の設置を取りやめた。 財政状況を踏まえた、今後の特別緑地保全地区の指定等の方向性を検討する必要がある。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	(仮称)上町屋特別緑地保全地区の指定について、候補地の区域の確定に向けて、土地所有者との調整を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	・(仮称)上町屋特別緑地保全地区の指定に向けた調整を進める必要がある。 ・今後、地区指定の方向性が明確になり次第、指定に必要な図書の作成・標識設置に係る予算措置をする必要がある。	
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直し <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会を開催する必要がある。 ・緑の基本計画で保全対象とした特別緑地保全地区等の候補地の保全に努める必要がある。
総評	・緑の基本計画に基づく事業の実施やその進行管理等において、緑政審議会は重要な役割を果たしている。 ・今後も緑地保全基金の充実に努めながら、緑の基本計画に沿った取組を継続していく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	緑の基本計画の策定								
団体名	鎌倉市	横浜市	川崎市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○
比較事項	近郊緑地特別保全地区の指定面積(平成26年3月31日現在)								
団体名	鎌倉市	横浜市	川崎市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	131.0 ha	194.0 ha	0.0 ha	0.0 ha	0.0 ha	244.0 ha	33.2 ha	0.0 ha	65.0 ha
比較事項	特別緑地保全地区の指定面積(平成26年3月31日現在)								
団体名	鎌倉市	横浜市	川崎市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	48.8 ha	311.9 ha	118.8 ha	35.8 ha	4.9 ha	0.0 ha	0.0 ha	0.0 ha	0.0 ha
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	・都市緑地法に基づく緑の基本計画の策定と同計画による施策展開は、どの自治体においても取組が行われている状況である。 ・近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区の指定については、他の自治体と比較して、人口や市域面積を考慮すると相当に実績が高い。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---